

鹿島高校生の活躍

鹿島高校で「夢探し」を

校長 えぐたか（江口孝之）

「鹿島高校は、夢がみつきり、夢がひろがる学校です。」

私は、さまざまな機会でそう申し上げます。

本校は、普通科・商業科・食品調理科という三つの学科で、それぞれの強みを生かした教育活動を行い、生徒の皆さんの「夢探し」をお手伝いします。

「夢探し」のお手伝いは授業や補習ではありません。

鹿島高校と鹿島実業高校の多くの卒業生の皆さんが、在校生の「夢探し」を手伝ってくれます。

年に1回の「旭ヶ岡キャリア塾」では、様々な職場、ステージで活躍している 20 名近い卒業生講師陣が、自らの経験も踏まえて「夢探し」のアドバイスをしてくれます。卒業生社会人が赤門学舎の特別教室に滞在する「旭ヶ岡キャリアラボ」も開設しています。生徒の皆さんは、昼休みや放課後にラボを気軽に訪れていただき、「夢探し」について先輩たちと語り合うことができます。

また、多くの大学・短大・専門学校、企業のご協力を得た説明会や講演会、見学会等を実施して、その学校や会社、職業の魅力を直接知る取り組みも行っています。

「夢」は、「志」という言葉に置き換えることもできます。

人々の幸せ・喜びを増やしたり、人々のつらさ・悲しさを少しでも減らしたりするために自分に何ができるか、何をしたいか、それが「志」です。

夢を広げたり、志を持ったりするためには、日々の授業が最も重要です。先人たちが積み上げた学問や修練の成果を知識・技能という形で吸収し、考える力、判断する力などを身につけなければいけません。授業だけでなく、部活動等においても、自分を高めていくためにどうすればいいか、何が必要か、日々真実や真理を探し求めていくことが大切です。「探求」です。

鹿島高校は、夢を見つけ、広げるために、生徒全員が何事にも誠実に真心を持って取り組み、日々の生活を送る学校です。まじめに努力する者が報われる学校です。「至誠」です。

「至誠にして大志を抱き、探求に努めよ。」

鹿島高校は、令和6年度もこの言葉をモットーにしていきます。

中学生の皆さん、小学生の皆さん、将来ぜひこの鹿島高校に夢を見つけに来てください。お待ちしております。

さくら舞う入学式

4月9日（火）令和6年度入学式を赤門学舎体育館で行いました。216名の新入生が鹿島高校生としての第1歩を踏み出すことができました。

真新しい制服を着た新入生は、期待に胸を膨らませ、緊張した面持ちで式に臨みました。式の中では、部活動代表の生徒と生徒会役員が校歌を歌って紹介しました。また、吹奏楽部が演奏し、新入生を歓迎しました。



仲間と共に突き進め



4月10日(水)新入生を歓迎し、書道部が赤門学舎中庭でパフォーマンスを行いました。「桜花爛漫」春の日差しを浴びながら、部員全員で鹿島高校生に向けた熱い言葉を心を込めて書き上げました。

石垣をアートで彩る



3月8日(金)～27日(水)、美術部は鹿島市 SDGs 絵楽&楽歩プロジェクト実行委員より依頼を受け、鹿島市浜町 臥竜ヶ岡公園の石垣に大きな絵を描きました。鹿島をモチーフにした「鹿の島(ろくのしま)」を完成させ、公園をアートの力で華やかにすることができました。

SAGA 2024 に向けて



今年開催される国民スポーツ大会・全国障害者スポーツ大会に向け、鹿島市の会場に設置される「のぼり旗」を書道部と美術部が共同で制作しました。

墨や絵の具を使い、旗一枚一枚に丁寧に手書き(描き)しています。全国から訪れる選手を温かく迎え、競技を盛り上げます。

中庭に歓迎の音色が響く



4月12日(金)吹奏楽部が赤門学舎中庭でミニコンサートを行いました。昼休みに演奏が始まると、ベランダや渡り廊下に多くの生徒たちが集まり、ひとときの演奏を楽しみました。吹奏楽の音色に生徒たちの手拍子があわせり、とても素敵なコンサートになりました。

鹿島を盛り上げよう



3月23日(土)、24日(日)に開催された「第15回かしま発酵まつり」に22名の生徒が運営ボランティアとして参加しました。鹿島の魅力を伝えるイベントの企画から運営まで携わることができ、鹿島の良さとイベント開催の難しさを再認識することができました。

🐟 海底の遊園地 🐟



科学部が作ったビー玉コロコロ装置が佐賀県立宇宙科学館に展示されています。

『私たちがこだわった部分は魚の絵を貼った観覧車です。試行錯誤を繰り返し、スムーズにビー玉が転がるように工夫を重ねました。ビー玉の跳ねる音、木とぶつかる音がとても心地よいです。ぜひ遊んでみてください。』